令和6年度第2回鶴岡市地域公共交通活性化協議会 (兼鶴岡市地域公共交通会議) 会議録[概要]

■日時：令和6年6月19日（水） 午前9時～10時28分

■会場：鶴岡市役所 6階 大会議室

■委員出欠：24名中 18名出席（うち代理出席7名、オンライン参加2名）

鶴岡市 副市長	阿部 真一 会長
庄内交通（株）代表取締役社長	村 紀明 委員
（一社）山形県バス協会会長	村 紀明 委員
（一社）山形県ハイヤー協会 会長	
（代理）専務理事（オンライン）	山家 庸彰 委員
（一社）山形県ハイヤー協会鶴岡支部 支部長	柿崎 裕 委員
鶴岡市町内会連合会 理事	加藤 悟 委員
鶴岡市自治振興会連絡協議会 加茂地区自治振興会長	斎藤 正哉 委員
東北運輸局 山形運輸支局 支局長	
（代理）主席運輸企画専門官（オンライン）	角張 英恵 委員
山形県交通運輸産業労働組合協議会 庄内交通労働組合書記長	後藤 正志 委員
東北地方整備局酒田河川国道事務所所長	
（代理）鶴岡国道維持出張所所長	長岐 貞行 委員
庄内総合支庁道路計画課 道路管理主幹（代理）課長補佐	生方 昌樹 委員
鶴岡警察署 署長（代理）交通課 係長	藤田 和弘 委員
庄内総合支庁 総務企画部 総務課 連携支援室 室長（代理）主査	中西 良輔 委員
鶴岡商工会議所 会頭	上野 雅史 委員
鶴岡市老人クラブ連合会 会長	日向 常浩 委員
鶴岡市身体障害者福祉団体連合会 会長	佐藤 満子 委員
朝日地域自治会連絡協議会 会長	齋藤 良弘 委員
温海地域自治会長会 会長	五十嵐 収一 委員
（欠席）	
山形県ハイヤー・タクシー協会 会長	青木 礼二 委員
JA 鶴岡女性部 部長	渡部 優子 委員
DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー 係長	ミヨ・サラ・ラッセル 委員
藤島町内会長連絡協議会 副会長	高山 与一 委員
羽黒区長会 会長	寒河江 文男 委員
櫛引区長会 会長	高橋 治郎 委員

協議会規約第8条 過半数の出席により会は成立

■関係者：	庄内交通（株）専務取締役	高橋 広司
	庄内交通（株）営業本部乗合バス次長	中村 美穂
■事務局：	鶴岡市 企画部 部長	上野 修
	企画部 地域振興課 課長	菅原 青
	企画部 地域振興課 主査	渡部 久美子
	企画部 地域振興課 主事	横田 淳一郎
	藤島庁舎総務企画課地域まちづくり企画調整主査	齋藤 優
	羽黒庁舎総務企画課 専門員	矢口 舞衣子
	櫛引庁舎総務企画課 主査	大江山 守
	朝日庁舎総務企画課 主事	近野 辰夢
	温海庁舎総務企画課 主査	奥田 はるか

■傍聴者： 1名

■次第：

1. 開会（午前9時）
2. 挨拶
3. 報告
 - (1) 各地域内交通の今後の方針について 報告資料1～3
4. 協議
 - (1) 鶴岡市地域公共交通活性化協議会規約および鶴岡市地域公共交通会議設置要綱の改正について 協議資料1（修正）
 - (2) 庄内交通 路線バスの廃止等について 協議資料2
 - (3) 長沼・八栄島地区デマンド交通の本格運行の実施について 協議資料3
 - (4) 櫛引地域デマンド交通の本格運行の実施について 協議資料4
 - (5) 温海地域乗合タクシーの経路変更および時刻表等の改正について 協議資料5
 - (6) 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について 協議資料6
5. その他
 - (1) 第10回小学生バスの絵コンテストの開催について
 - (2) 朝日地域相乗りタクシーの実施について
 - (3) 大鳥地区移動支援モデル事業について
 - (4) 鶴岡市中心市街地活性化ビジョンについて
6. 閉会（午前10時28分）

■資料：会議次第、委員名簿、資料一式、協議資料1（修正）、第10回小学生バスの絵コンテストチラシ、朝日地域相乗りタクシーチラシ、大鳥地区移動支援モデル事業資料、鶴岡市中心市街地活性化ビジョン資料

■1.開会

定刻になったため、地域振興課長が開会を告げ、次第に沿って進行した。

■ 2. 挨拶

阿部会長（副市長）の挨拶。

■ 3. 報告

（1）各地域内交通の今後の方針について

○議長：

「（1）各地域内交通の今後の方針」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

（報告資料1～3により説明）

○議長：

朝日地域の再編はいつ頃を予定しているのか。また、予算要求等のスケジュールについて説明を求めらる。

○事務局：

来夏頃の再編を予定している。今後のスケジュールとしては、10月頃の予算要求を目指し、再編案の大枠を決定する。その後、12月～1月の交通会議において協議するため、再編案を決定する。これに合わせて、周知を開始する。

○議長：

他にご質問やご意見等はありませんか。

（委員より意見、質問は無かった。）

○議長：

ないようですので、続いて協議に入ります。

■ 4. 協議

（1）鶴岡市地域公共交通活性化協議会規約および鶴岡市地域公共交通会議設置要綱の改正について

○議長：

「（1）鶴岡市地域公共交通活性化協議会規約および鶴岡市地域公共交通会議設置要綱の改正」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

（協議資料1（修正）により説明）

説明中に山形運輸局からの指摘があり、資料の誤りが判明したため、協議の最後に回した。

他の協議事項終了後、修正資料に基づき説明した。

○議長：

ただ今の報告（1）について、ご質問やご意見等はありませんか。

（委員より意見、質問は無かった。）

○議長：

それでは（1）について、原案通り承認という事でもよろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは、（1）については原案の通り承認されました。

（2）庄内交通 路線バスの廃止等について

○議長：

「（2）庄内交通 路線バスの廃止等」について、庄内交通株式会社様より説明をお願いします。

○庄内交通株式会社：

(協議資料2により説明)

○議長：

ただ今の報告(2)について、ご質問やご意見等はありませんか。

3路線の廃止後の代替手段として、先ほどの報告事項でも各地域より説明があったが、改めて簡単に説明を求める。

○事務局：

清川線については、現存の乗合タクシーの運行エリアを拡大し、清川線沿いの地区住民も利用できるようにする。ゆ～Town線については、櫛引地域のデマンド交通について、現在は櫛引地域内のみの運行となっているが、ゆ～Town線沿線の住民も利用できるよう、サウスモールみーなまでの延伸を検討している。大鳥線については、大鳥-上田沢間は市営バスが走っているが、これ加えて市営バスが走らない時間帯に住民互助輸送を検討している。

○委員：

バス事業者の乗務員不足が顕著であるとの説明があった。これは交通関係事業者全般に言えることでもある。この問題に対し、鶴岡市として対策は講じているか。

○事務局：

令和6年1月より、交通事業者向けの二種免許取得支援事業を開始している。現段階で申請はないが、市内2事業者と2人の個人より問合せを受けており、今後申請が見込まれる。同様の事業を山形県でも実施しており、併用することで事業者の負担を大幅に軽減することができる。

○議長：

それでは(2)について、原案通り承認という事でよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、(2)については原案の通り承認されました。

○議長：

「(3)長沼・八栄島地区デマンド交通の本格運行の実施」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

(協議資料3により説明)

加えて、運賃については道路運送法第9条の規定に従い、関係者のみで別途書面協議することを説明。

○議長：

ただ今の報告(3)について、ご質問やご意見等はありませんか。

実証運行から本格運行に移行することで、会員数の変化はあるか。また、高校生等の通学にも利用することはできるか。

○事務局：

会員数は全体的に徐々に増えており、現在は400名ほどいる。高校生等も利用することはできるが、高校の多い鶴岡方面へは毎日運行していないため、実質利用はない。

○議長：

それでは(3)について、原案通り承認という事でよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、(3)については原案の通り承認されました。

○議長：

「(4) 櫛引地域デマンド交通の本格運行の実施」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

(協議資料4により説明)

加えて、運賃については道路運送法第9条の規定に従い、関係者のみで別途書面協議することを説明。

○議長：

ただ今の報告(4)について、ご質問やご意見等はありませんか。

○議長：

それでは(4)について、原案通り承認という事でよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、(4)については原案の通り承認されました。

○議長：

「(5) 温海地域乗合タクシーの経路変更および時刻表等の改正」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

(協議資料5により説明)

○議長：

ただ今の報告(5)について、ご質問やご意見等はありませんか。

温海地域の中で話し合いがなされていると思うが、他の案や利用者からの意見が出ることはなかったか。

○委員：

この改正については、5/23に温海地域内でも話し合われたもの。利用者等からの意見を反映させた案であるので、変更には異存はない。

○議長：

それでは(5)について、原案通り承認という事でよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、(5)については原案の通り承認されました。

○議長：

「(6) 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

(協議資料6により説明)

○議長：

ただ今の報告(6)について、ご質問やご意見等はありませんか。

計画内のデマンド交通について、令和7年度は2系統となっているがどの地域の系統を指しているのか。また、今年本格運行に移行する2地区については、フィーダー路線にはならないのか。

○事務局：

令和7年度の2系統は以前からフィーダー路線として認定されていた東栄デマンドと、今回新たに加わった温海地域乗合タクシーの関川線の2系統である。

フィーダー系統は地域間幹線系統に接続する必要があるが、櫛引デマンドはその接続がないためフ

ィーダー路線にはなれない。長沼・八栄島デマンドについては、地域間幹線系統に接続しているため
フィーダー系統になり得るが、来年度の大規模再編も予定されているため、フィーダー路線への申請は今
後検討する。

○議長：

それでは（６）について、原案通り承認という事によろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは、（６）については原案の通り承認されました。

○議長：

その他、委員の皆様、関係機関の皆様よりご意見はありますか。

無い様ですので、これで協議を終了し、進行を事務局にお返しします。

■その他

第10回小学生バスの絵コンテストの開催、朝日地域相乗りタクシーの実施、大鳥地区移動支援モ
デル事業、鶴岡市中心市街地活性化ビジョンについて情報提供。加えて、庄内交通㈱より、まちある
きマップについて情報提供。

■5. 閉会

地域振興課長が閉会を告げた。